

⑤ 内容及び方法

- ア 主 題 政治意識を高めよう
- イ 講 演 県政と行政改革
福島県副知事 友 田 昇
- ウ 講 義 参議院選拘束名簿式比例代表制について
福島県選挙管理委員会選挙係長
小 林 伸 三
- エ 問 題 提 起
 - ㊦ 地域における常時啓発
(財)福島県婦人会館副理事長
佐 藤 清 子
 - ㊧ 婦人議員の選出をはかるには
(財)福島県婦人会館常務理事
小 針 成 子
 - ㊨ 婦人団体活動と行政
福島県明るい選挙推進協議会委員
梅 津 絹 子
- オ 分散会 3分散会

第4節 ユネスコ活動

1 概 要

ユネスコは、教育・科学・文化の交流や協力を通して、国際平和と人類の福祉に貢献することを目的としているが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律においても教育委員会の任務として「ユネスコに関すること」として明示されている。そのため、教育委員会は、ユネスコ精神の普及啓発と民間ユネスコ協会の育成及び指導者の養成に努めた。

2 ユネスコ協会の設立状況

協会名	会長名	事務局	事務局長	備考 (設立年月日)
須賀川地方ユネスコ協会	内山 邦夫	須賀川市社会教育課 須賀川市八幡町135	安藤 元介	46.9.13
いわきユネスコ協会	高杉 清寿	いわき市社会教育課 いわき市平梅本21	小島 秀雄	51.9.13
郡山ユネスコ協会	佐藤 信	朝日生命郡山支社 郡山市清水台1丁目 1-26	飯田 達也	53.1.24
白河ユネスコ協会	柳沼 和夫	白河市社会教育課 白河市八幡小路7-1	八田部良夫	53.11.29
福島ユネスコ協会	折笠与四郎	福島市中央公民館 福島市松木町1-7	大越源三郎	55.7.19
会津ユネスコ協会	高橋 力	会津若松市社会教育課 会津若松市栄町5-20	結城 孝一	55.11.16
県連絡協議会				
福島県ユネスコ連絡協議会	折笠与四郎	福島県教育庁 社会教育課 福島市杉妻町2-16	大越源三郎	56.12.4

3 ユネスコ（国際理解・国際協力）活動研修会

(1) 趣 旨

ユネスコ活動関係者を対象に、国際理解・国際協力活動に関する研修を行い、指導者の育成とユネスコ活動の促進に資する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和57年7月28日(休)
- ② 会 場 喜多方市中央公民館
- ③ 参加者 学校教育関係者・社会教育関係者、その他国際協力活動関係者 80名

(3) 内 容

- ① 主題「国際理解、国際協力活動をどのように進めたらよいか」
- ② 講演「最近の国際情勢と国際協力の必要性」
共同通信社編集局顧問、外交評論家
大 田 康 正
- ③ 事例発表

ア 「外国人受け入れ活動について」

喜多方市ロータリークラブ会長 安 達 三 郎

イ 「高校における海外移住活動の指導について」

県立喜多方女子高校教諭 五十嵐 勇 作

④ 部会協議

ア 学校部会

イ 地域部会

会津ユネスコ協会会長 高 橋 力
会津若松サベリオ学園高校教頭 賀 川 直 信
喜多方市教育委員会社会教育課長

五十嵐 清 喜
北塩原村立裏磐梯小学校長 初瀬川 昂

⑤ 専門部会 「地域における協会結成の促進について」

福島県ユネスコ連絡協議会事務局長
大 越 源三郎
福島県教育庁社会教育課社会教育主事
七 島 征

4 国際交流活動研修会

(1) 趣 旨

教育・科学・文化の分野における国際交流活動の意義を広く県民に普及・浸透させるとともに、国際交流活動を振興するうえで大きな役割をはたす指導者の育成に資する。

(2) 期日・会場・参加者

- ① 期 日 昭和57年12月1日～2日
- ② 会 場 船引町中央公民館
- ③ 参加者 学校教育関係者・社会教育関係者・国際交流事業関係者 120名

(3) 内 容

- ① 主題 「国際化時代に対応して、教育・科学・文化の分野における国際交流活動をどのように進めたらよいか」
- ② シンポジウム・フォーラム
「国際化時代に対応した国際交流のあり方を考える」